

## 第7章 学校と地域の連携に対応した防犯対策

### 7 - 1 学校施設の開放時の留意点

- (1) 学校施設を地域住民等に開放する際、非開放部分に部外者が入らないよう施設面での措置を講じることが重要である。
- (2) 必要に応じて、開放部分と非開放部分の境界に相互に見通しのきくパイプシャッターや扉を設置し、施錠できるようにすることも有効である。
- (3) 管理者を置かない場合の学校施設の開放に際しては、使用団体等への錠の授受方法や保管方法等について検討し、万一紛失等があった場合の対応方法を明確にしておくことが望ましい。

#### (1) 領域及び動線の明確化

地域住民等にとって利用しやすく、かつ運営上も管理しやすく不審者の早期発見につながるよう、開放部分の領域を明確化することが重要である。

児童生徒等の活動と地域住民の活動がそれぞれ円滑に行われるよう、利用時間帯等を考慮しつつ、双方の動線を適切に設定することが重要である。

#### (2) 合意の形成とルールの明確化

地域住民等の一人一人が、地域の中で児童生徒等の安全を守るという意識をもつことができるよう、関係者間において十分な連携を図り、防犯対策について共通の理解を得られるようにすることが重要である。その際、相互に無理のない運営を心がけることが重要である。

各利用団体が学校の危機管理体制を把握し、その内容が利用者に伝わるように、マニュアルの活用やガイダンスの実施等を行うことも有効である。

カードやテンキーパッド等の利用を含め、出入管理に関する規程を予め定めておくことが重要である。

#### (3) 学校開放時の施設管理者等の役割

学校開放の管理者は、学校開放時における出入管理に留意するとともに、開放部分全体を把握できることが重要である。

学校開放時においては、不特定の出入りが多くなるので、来訪する大人達も互いに声を掛合うことにより、安全を守る地域の人目を築く事が重要である。特に、授業時間帯に学校開放を行う場合は、名札の着用等による区別、地域の人目や人的配置による管理について一層の配慮が重要である。

放課後等の時間外に学校開放を実施する場合でも、第一に児童生徒等の安全確保について配慮することが重要である。



写真 7-1-1 地域開放用の受付の例  
・玄関に入ってわかりやすい位置に、地域開放事務局の受付を設置し、利用者は手続きを行ってから使用する。

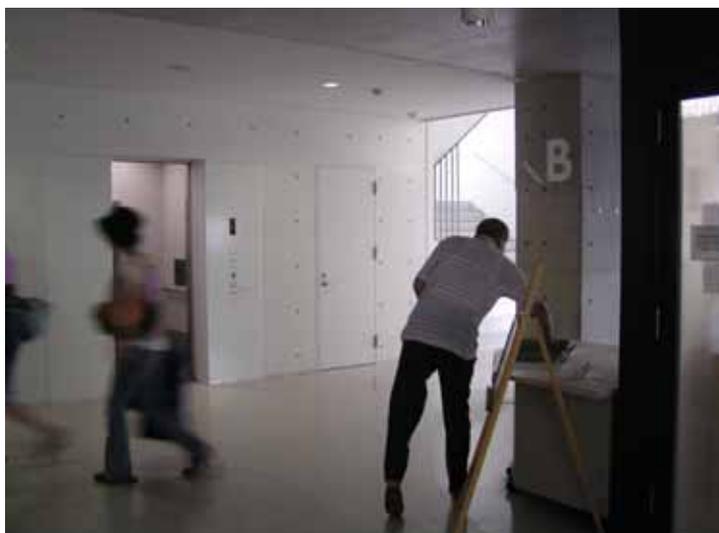


写真 7-1-2  
利用者の出入りの把握の例  
・施設開放利用者の出入りが見える位置に事務局（右側手前）を設置している。



写真 7-1-3  
地域開放部分と非開放部分との区画管理の例  
・見通しのきくガラスドアで領域を区分けしており、施錠することも可能となっている。

## 7 - 2 複合施設の場合の留意点

- (1) 学校施設及び複合化する施設のそれぞれの専用部分、共用部分について、それらの領域を明確化するとともに、その防犯対策に関する責任の所在や役割分担について明確にしておくことが重要である。
- (2) 防犯監視システムや通報システム等の導入に際しては、効果的かつ効率的な防犯対策とするため、学校施設及び複合化する施設の双方を総合的かつ全体的に計画することが望ましい。

## (1) 領域及び動線の明確化

地域住民等にとって利用しやすく、かつ運営上も管理しやすく不審者の早期発見につながるよう、学校及び複合化する施設のそれぞれの領域を明確化することが重要である。

児童生徒等の活動と地域住民の活動がそれぞれ円滑に行われるよう、利用時間帯等を考慮しつつ、双方の動線を適切に設定することが重要である。

## (2) 総合的な計画と運用

来訪目的が多様であることから、運営面での工夫が一層求められることに留意して、安全対策を検討することが重要である。

学校施設と複合化する施設について個別に防犯対策を検討すると、重複や抜けが生じ、システムとして欠陥になる可能性があるため、全体で総合的に計画することが望ましい。

地域住民等の一人一人が、地域の中で児童生徒等の安全を守るという意識を持つことができるよう、関係者間において十分な連携を図り、防犯対策について共通の理解を得られるようにすることが重要である。その際、相互に無理のない運営を心がけることが重要である。

各利用団体が学校の危機管理体制を把握し、その内容が利用者に伝わるように、マニュアルの活用やガイダンスの実施等を行うことも有効である。

カードやテンキーパッド等の利用を含め、出入管理に関する規程を予め定めておくことが重要である。

## (3) 施設管理者等の役割

複合化する施設の利用者が不特定多数である場合、不審者侵入の防止については一層の配慮が必要であり、特に出入管理に留意することが重要である。

それぞれの施設利用の時間帯が異なることから、敷地内全体の安全管理について十分に情報交換することが重要である。

放課後等の時間外においても、第一に児童生徒等の安全確保について配慮することが重要である。



写真 7-2-1

**複合施設の事務室受付**

- ・ 公民館内部の様子。正面奥が公民館の事務室受付となっており、右手奥にグラウンドが見える。学校をよく見渡せる位置関係にある。



写真 7-2-2

**明確に動線を分離している例**

- ・ 普通教室棟（左側）と生涯学習棟（右側）を分離するとともに、それらをつなぐ2階の人工地盤に総合案内所（中央）を設置している。